

✓ 各種コストの削減

✓ 情報共有の促進

✓ 意思決定の迅速化

✓ 会議の利便性向上

HITACHI
Inspire the Next

株式会社 日立製作所 様

設立 / 1920年2月1日(創業 / 1910年) 資本金 / 458,790百万円(2015年9月末現在)
代表者 / 代表執行役 執行役社長兼CEO 東原敏昭
従業員数(連結) / 336,670名(2015年3月31日現在)
売上高(連結) / 9,774,930百万円(2015年3月期)

導入機種 : PJP-50R / 約800台、
他にYVC-1000・YVC-300等多数
導入時期 : 2010年10月より
基本構成 : 日立IP-PBX「CX-01」と連携し、
内線番号を設定されたヤマハのPJP-50Rで
遠隔との音声会議環境を実現。

PJP-50R 導入効果のポイント

IP-PBXと連携した
多人数の電話会議を
簡単に実現

LANケーブル接続で
どこからでも
会議参加が可能に

声だけで誰が
話しているか分かる
高い音質と安定性



TOPICS

日立グループ内に約800台を導入

CX-01専用ファーム対応で円滑な連携

IP-PBX「CX-01」専用の音声会議端末としてPJP-50Rを採用。 LAN接続による簡単・高音質な音声会議を実現。

■ IP-PBXと連携した多人数の電話会議を簡単に実現

- CX-01配下の電話機として内線番号を付与可能
- 外線受発信も可能で、社内外問わず電話会議が可能
- 専用ファームウェアによる簡単設定

日立IP-PBX「CX-01」は、音声・ビジュアル・モバイルを融合した先進的ソリューションです。同社はこのCX-01と連携する内線電話機としてPJP-50Rを設置し、多人数による電話会議を簡単にできる環境を構築しました。連携にあたっては、接続検証により専用のファームウェアを開発。その上で、グループ会社を含めて約800台のPJP-50Rを導入しました。

■ LANケーブル接続でどこからでも会議参加が可能に

- アナログの電話会議は専用の電話線の設置が必要
- 集音性能も高くオープンスペースでも使用可能
- 有線接続で音切れがなく、常に安定した通話が可能

CX-01では、アナログ電話の専用線が必要なく、PJP-50RをLAN

接続するだけで内線電話の感覚ですぐに多人数の遠隔会議が始められます。社内ユーザーからは、以前の外国製品と比べ音声品質が格段に優れていると評価されており、「集音範囲が広く、声が拡散しやすいオープンスペースでも問題なく使える」「有線LAN接続なので音切れもなく安定している」と好評を博しています。

■ 声だけで誰が話しているか分かる高い音質と安定性

- 音質がよく、多人数の会議でも声で発話者を認識
- 以前の外国製端末はLANポート部分の故障頻発
- 導入後数年以上経っても故障のない安定した運用

2010年に始まった同社のPJP-50Rによる音声会議システムは、現在でも円滑に運用されています。「以前と比べて、誰が話しているか声だけで分かるようになった」「以前の外国製品で頻発していたLANポート部分の故障がなくなった」と高く評価されています。IP-PBXの導入が進み、従来の電話がIP化されるなかで、IP電話会議システムの需要もますます高まっています。

ご購入
いただいた
機器

PJP-50R

希望小売価格:170,000円(税抜)
JANコード:49 60693 23316 0

日立IP-PBX「CX-01」専用ファーム対応で
スムーズなIP-PBX連携を実現。

※CX-01専用ファーム搭載品はCX-01販売店経由でのみの取扱となります。通常販売品では対応しておりません。

お客様の声

**PJP-50Rは、ヤマハの音響技術を結集したIP音声会議システム。
CX-01との連携で、音声会議をより身近で便利なものに変えました。**



株式会社 日立製作所
サービスプラットフォーム事業本部
IoT・クラウドサービス事業部
IoTシステム第2本部
ネットワークシステム第2部
担当部長
荻野 啓 様

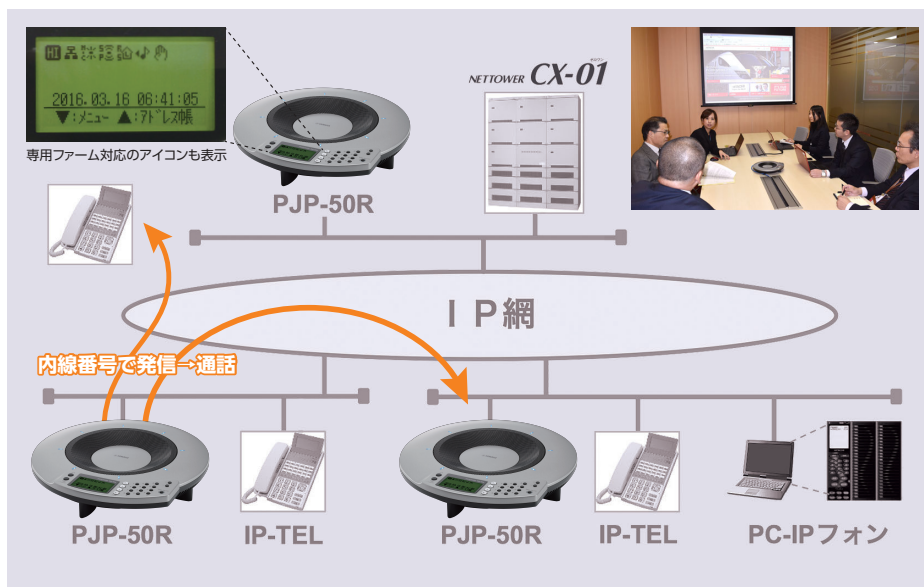


株式会社 日立製作所
サービスプラットフォーム事業本部
IoT・クラウドサービス事業部
IoTシステム第2本部
ネットワークシステム第2部
主任技師
北村 進 様

日立IP-PBX「CX-01」は、進化するネットワーク技術や最新のサービスを取り込んだコミュニケーションシステム基盤です。音声、ビジュアル、モバイルを融合させ、簡単・便利な使い勝手と様々なコスト削減を実現しています。このCX-01と連携する音声会議システムを検討しましたが、ヤマハのPJP-50Rの集音効率の良さと音声品質の素晴らしさに驚きました。さすがヤマハの音響技術を結集した製品だと感じました。(荻野様)
当初は、CX-01と連携する音声会議システムとして、外国製品を使っていました。その頃は会議室への常設ではなくてLANケーブルの抜き差しが多く、LANポート部分の故障が多発して修理もたいへんでした。その点、ヤマハのPJP-50Rは信頼性が高く、修理・保守なども迅速に対応してくれました。音声品質が格段に優れていることに加え、国内メーカーならではのファームウェア開発に対する柔軟性も、高く評価しています。(北村様)

日立製作所様におけるCX-01とPJP-50Rの連携

CX-01は、従来回線・IPのいずれでも最適なシステムの構築が可能であり、内線電話の他に音声会議システム、スマートフォン、ビデオ会議システムなど多彩なデバイスと接続することで、極めて簡単・便利なコミュニケーションを実現することができます。
今回のCX-01とPJP-50Rの連携に際しては、接続検証の結果を受けて専用のファームウェアを共同開発。内線番号を設定したPJP-50Rを会議室に常設し、CX-01の多地点接続機能によって、遠隔との多人数の音声会議を可能にしています。



PJP-50Rの概要

- 寸法／283.4(幅)×297.5(奥行)×51.5(高さ)mm ●重量／約1.4kg(電源アダプタ含まず)
 - 電源／AC100V 50/60Hz ●形状／音声会議機器 ●対応プロトコル／SIP準拠、DHCP
 - LANインターフェース／Ethernet(10BASE-T/100BASE-TX)
- ※CX-01専用ファーム搭載品は、CX-01販売店経由でのみの取扱となります。通常販売品でCX-01には対応しておりません。またファーム変更も受け付けておりません。



●本資料に記載された製品名および企業名は、各社の商標です。

音声コミュニケーション機器お客様ご相談センター

■ お電話によるお問い合わせ先 ☎ **03-5651-1838** ■ FAXによるお問い合わせ先 📠 **053-460-3489**

ご相談受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

メールでのお問い合わせはこちら

<http://jp.yamaha.com/products/communication/support/>